



観音ヶ岳で雷鳥に遭遇！ 鳳凰三山周回
 ↑ドンドコ沢↓中道（無雪期ピークハント／縦走／甲斐駒・北岳）

by
 gekiyabu 

日程：

2012年09月01日(日帰り)

メンバー：

gekiyabu

天候：

晴れ後ガス

地図：



WEB SERVICES BY YAHOO! JAPAN

標高グラフ：

コースタイム：

3:55 駐車スペース -- 3:57 林道分岐 -- 4:14 ドンドコ沢 -- 4:19 登山道 -- 7:12 鳳凰小屋 -- 7:59 地蔵ヶ岳 8:04 -- 9:19 観音ヶ岳 10:27 -- 10:46 薬師ヶ岳 10:48 -- 12:17 中道登山口 -- 12:20 駐車スペース

コース状況／その他周辺情報：

- ・中道登山口付近を起点にドンドコ沢→地蔵ヶ岳→観音ヶ岳→薬師ヶ岳→中道と日帰り周回
- ・中道登山口から林道を下って最初の林道分岐で左に入り、その先の分岐でゲートのある右の林道を進むとドンドコ沢に出られる

- ・ 沢には橋は無いが水量少なく飛び石で渡れる
- ・ 対岸は道なしで適当に斜面を登る。やや下流側で水が流れた跡が歩きやすい
- ・ すぐにドンドコ沢登山道に合流
- ・ ドンドコ沢登山道は標高2000mくらいまで沢を横断する箇所があるので水を担ぐ必要なし
- ・ 鳳凰小屋は登山客が出払って静かだった
- ・ 地蔵ヶ岳のオベリスクへ登るための補助ロープは無くなっていた。クライミングの道具が無いと安全に登攀したり下るのは不可能
- ・ この日は朝からガスが上がって展望悪し。北岳も雲の中
- ・ タカネビランジはまだたくさん咲いていた
- ・ 稜線上は週末よりずっと人は少なく静かだった
- ・ 中道登山道は続々と登ってくる登山者が

 写真：



ドンドコ沢につながる林道入口



ドンドコ沢につながる林道のゲート



ドンドコ沢。工事が終わって渡りやすい石の連なりは除去されていたが、自然の石でも比較的簡単に渡れる水量



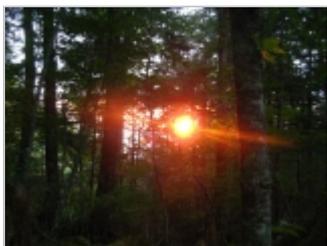
左岸を適当に上がって登山道へ出た



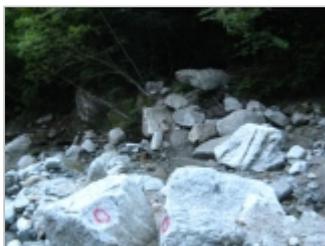
最初の沢で顔を洗って水補給



南精進ヶ滝分岐



樹林の隙間から朝日が上がる



枯れ沢を横断



朝日が森を照らす

った



鳳凰の滝分岐



岩屋



白糸の滝



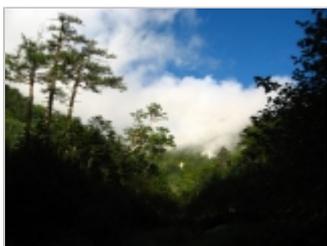
最後の沢 = 最後の水場



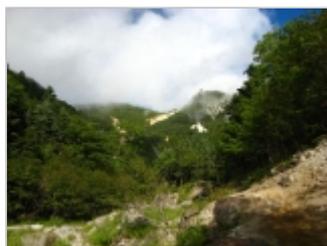
五色滝分岐



シラビソ樹林を登る



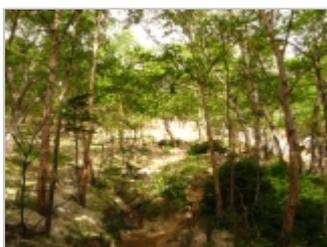
稜線はガスの中らしい



開けた谷を進む。もう鳳凰小屋は近い



鳳凰小屋



地藏ヶ岳への登り



樹林を抜けて白砂の斜面



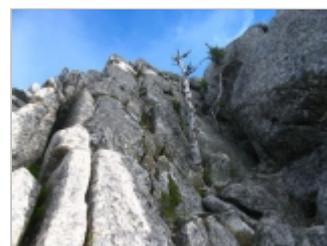
青空をバックにオベリスク。でも天気が続かない



岩場が始まる手前の砂礫



とりあえず行ける所まで行ってみる



登りやすいところを適当に登る



オベリスクを見上げる



オベリスク直下への「裏道」入口。金属プレートの横のこの隙間から入れる



オベリスク直下。1か月前にあったお助けロープは消えており、今はクライミングギアが無いとアタックは無理



下る



赤抜沢ノ頭へと向かう



高嶺



ガスに覆われた観音ヶ岳へ向かう



季節風に耐え抜いた唐松



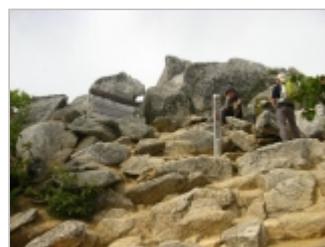
鳳凰小屋分岐



1か月前も咲いていたタカネビランジはまだ咲いていた



観音ヶ岳直前



観音ヶ岳山頂



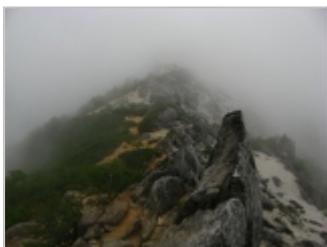
観音ヶ岳最高点の岩



観音ヶ岳から見た薬師ヶ岳



観音ヶ岳直下で見かけた雷鳥。鳳凰三山で見たのは初めて



薬師ヶ岳に向かう



北岳もガスの中で見えず



薬師ヶ岳手前から見た薬師ヶ岳



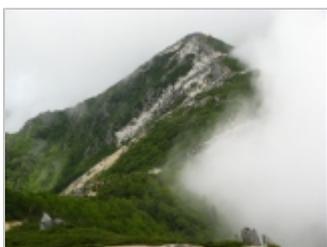
本当の薬師ヶ岳に向かう



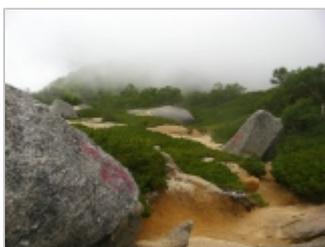
地形図の薬師ヶ岳山頂



薬師ヶ岳山頂からの展望



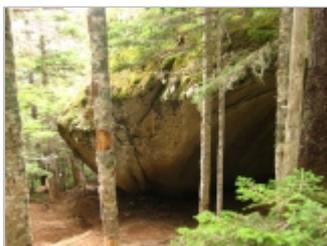
薬師ヶ岳山頂から見た観音ヶ岳



中道を下る



すぐに森林限界が終わる



御座石



シラビソ樹林を下る



笹が登場すると唐松植林帯が近い



唐松植林帯



廃林道



シラビソ植林帯を下る



中道登山口近くの沢



中道登山口



中道登山口前の駐車スペース

感想／記録：(by gekiyabu)

今年3回目になるが、土曜日しか時間が取れないので再び鳳凰三山へ。今回は日帰りで鳳凰三山周回に挑戦。中道登山口付近に車を止めてドンドコ沢を登り、鳳凰三山を縦走して中道登山道を下る計画。

青木鉱泉入口を通過してなおもダートの林道を進むが、デコボコで車の腹を摺らないよう要注意。中道登山口付近の駐車スペースで仮眠。

翌朝、まだ真っ暗な中を出発。林道を下って最初の林道分岐で青木鉱泉方面ではなく左に入り、しばし進んで次の分岐はゲートがかかった右に入る。これを進むとドンドコ沢右岸に出るので飛び石で適当に渡渉。先月はここは工事中だったがもう工事は終了していた。

対岸に出て前回とは逆に下流方向に少し進んでみたが道らしきものは見当たらなかった(まだ真っ暗で広範囲が見えなかつただけなので、もしかしたらどこかに踏跡程度はあるかも?)。大水で水が流れた跡を上目指して少し歩くとすぐに登山道に出ることができた。

最初の沢で顔を洗って少しだけ水を補給して延々と登山道を歩く。樹林なので5時を過ぎても暗かった。今回は滝見物は全てパスして先を急ぐ。傾斜が緩んで開けた谷に出ると初めて稜線が見えるがガスの中。今回は展望はダメかな。

ほとんど登山者が出払った静かな鳳凰小屋で水補給。鳳凰三山縦走にするために観音ヶ岳に向かう道ではなく地蔵ヶ岳の道に入る。深いシラビソ樹林を通過すると明るいダ

ケカンバ樹林に、それが終わると足元が悪い白砂の急斜面の登り。ここは苦しい所だが展望が開けて気持ちいい場所でもある。

砂地が終わって岩場が始まると登ってくる人が少なくなる。でも凸凹が多くて簡単な岩で、ホールドスタンスとも豊富だ。ルートも1本ではない。オベリスク基部から裏側に回り込んで、金属プレートのある場所から岩の隙間に入り込んでオベリスク直下へ。驚いたことにお助けロープが無くなっていた。これでは一般登山者は歯が立たない。もしかしたら何らかの事故が起きて撤去されたのだろうか？

上空から東側は青空が見えているが、高い雲の層で下界は見えないし白根三山も北アルプスも雲の中。今日の展望はもうダメだろうな。

地藏ヶ岳を下って赤抜沢ノ頭から観音ヶ岳へ。高度が上がると完全にガスの中に入ってしまう、観音ヶ岳もガスの中で青空も展望なし。しかしそれが幸いしたのか、山頂直下で雷鳥発見。今まで何度も鳳凰三山を歩いているが、雷鳥を目撃したのは初めてだ。同じ大きさのが2羽いたが子供だろうか。

観音ヶ岳から薬師ヶ岳へ。ガスが切れて北岳の稜線が見えたが山頂付近はガスのまま。薬師ヶ岳は山頂標識が立つ広場には立ち寄らずに地形図の山頂へ直接向かった。ここへは立ち寄る人はほとんどいない。

最後は中道の下り。今日は土曜日なので登ってくる人が多い。今時らしい若い女性だけのパーティーも。でも天気は大丈夫かな。追い越した登山者もそれなりにいた。登山口に到着すると今回は数台の車あり。僅かに下って自分の車へ。

Copyright(c) Yamareco. All Rights Reserved.
<http://www.yamareco.com/>